

表 13.4 褥瘡経過評価スケール：DESIGN-R®（日本褥瘡学会，2013／日本褥瘡学会ホームページから一部引用）

治療薬や抗菌薬含有軟膏，創傷被覆材，陰圧閉鎖療法，デブリードマンを適宜使い分ける．消毒液は明らかな感染のある場合以外，原則的に使用しない．

8. 人工皮膚炎 **factitial dermatitis**

同義語：自傷性皮膚炎（dermatitis artefacta）

症状

紅斑、びらん、壊疽、潰瘍などが突然発生する。手の届く範

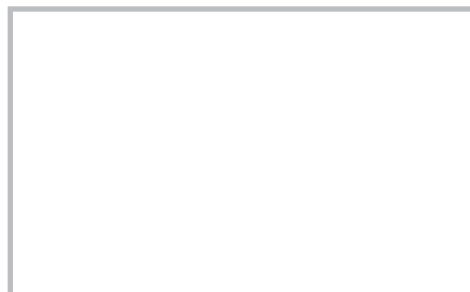


図 13.12 褥瘡 (pressure ulcer, decubitus)
DESIGN-R®で判定すると、この症例は D3-e3S8i1G5N6
P9: 32 点となる。



図 13.13 あかつき病 (akatsuki disease)
20 歳代女性。乳頭部に湿疹が生じることを恐がって
長期間ほとんど洗わなかったために著明に角質が堆
積した。



図 13.14 臍石 (navel stone)
いわゆる“おへその石”。患者は臍部の黒い腫瘍を主
訴に受診。ひっぱると“あか” (角質塊による臍石)
が除去された。臍を洗ってはいけないという両親から
の教えを長年強く守ってきたことによって生じた例。

ミュンヒハウゼン症候群 (Münchhausen syndrome)

MEMO

Trigeminal trophic syndrome

MEMO

困 (四肢, 胸部, 顔面) に多く, 右利きの患者には左側に多発する。爪, 刃物, 薬物などが用いられ, それに応じてさまざまな皮疹を示す。

病因・診断

精神的ストレス, 神経症, うつ病, 精神遅滞, 統合失調症などを背景に, 自らの皮膚, 毛, 爪, 粘膜を自ら傷つけることで生じる人工的病変である。ほとんどの患者が自傷行為をしていることを否定する。本症の特殊型として, トリコチロマニア (trichotillomania, 19 章 p.371 参照) や爪甲損傷癖 (onychotillomania, habit-tic deformity) といったものが存在する。また, あかつき病 (akatsuki disease, 図 13.13) や臍石 (navel stone, 図 13.14), バガボンド病 (vagabond's disease) などが類似疾患としてあり, これは, その部位を洗わない状態が長期間続いたために生じた皮膚の状態である。

治療

皮膚病変に対し適切な治療を行う。精神神経科医と相談しながら解決をはかることが必要な場合が多いが, 患者の同意を得られないことが多い。

光線性皮膚疾患 photodermatosis

suntan と sunburn

MEMO

日光や, それに含まれる紫外線曝露により皮膚にはさまざまな変化が生じうる。これを光線性皮膚疾患と総称する。このなかには, 光線のみによって誰にでも生じうる日光皮膚炎 (いわゆる“日焼け”) や光老化などが含まれる。一方, 何らかの内的・外的因子が加わり, 健常人では反応を起こさない光線量で異常な皮膚反応を示すことがあり, これを光線過敏症 (photosensitivity) という。